

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	神戸大学				
取 組 名 称	21世紀型市民としての法学士育成計画				
取組学部等	法学部				
申 請 区 分	教育課程の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A11046	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	専門基礎	キャリア	成績評価		
キーワード	政策判断能力, プレゼンテーション能力, 問題解決能力, ジャーナリズムプログラム, 教育カルテ				

<選定理由>

本取組は、問題解決能力を活用し、社会にある諸問題の解決に貢献できる人材を育成するために、「政策判断能力」と「プレゼンテーション能力」の修得を目指したプログラムとして高く評価できる。

特に、政策判断能力の育成を重視したカリキュラムの再構成を目指した取組は大変よく練られており、目的達成について大きな意義を有するものである。

また、ライティング能力向上のための取組も、視点として大変優れている。外部機関との連携にも期待が持て、実際にこの取組が現実のものとなれば、一つの模範例となりうると考えられる。

ただし、ライティング能力の向上に関しては、ティーチングアシスタントの訓練が必要不可欠となるため、マニュアル作成等の改善を図ることが望まれる。取組実施に当たっては、これらのことに対応しつつ、着実に効果を上げることが期待される。

取組の概要【1ページ以内】

【目的】

「21世紀型市民としての法学士＝法学政治学分野における問題解決能力を活用し、社会に存する諸問題の解決に貢献できる人材」を育成します。そのために能動的な学びを通じ学生に「政策判断能力」と「プレゼンテーション能力」を修得させます。

【取組内容】

1. **政策判断能力育成のためのカリキュラム編成(少人数授業を全学年で開講)**
 - a 2年次にグループ自主研究型授業「プロジェクト基礎演習」を新規開講
 - b 3・4年次に「プロジェクト型/リサーチ型授業群」を設定
 - c 「政策判断能力育成型プログラム修了証明書」の発行
2. **プレゼンテーション能力の向上推進**
 - a ジャーナリズムプログラムの拡充
 - b ライティング支援スタッフの確保
 - c 成果物の公表
3. **学部内 GP についての総合的支援推進**
 学生の企画に対する人的・ノウハウ・財政的支援を競争的に実施
4. **本取組の有効性を担保するFD及び質的評価のための「教育カルテ」整備**

【本取組実施後のカリキュラム概念図】

